



平成30年8月6日
十日町市松之山支所地域振興課

「松之山オープンキャンパス」の開催について

少子高齢化が進む松之山地域では、十日町高校松之山分校存続の危機感から教育の中に大地の芸術祭と連携した特色あるカリキュラムを取り入れ、研究を続けてきました。今回、大地の芸術祭に合わせ、これまでの取組みを公開し、体験できるオープンキャンパスを開催します。

- 開催日 平成30年8月25日（土）
- 会場 三省ハウス（十日町市松之山小谷地内 旧三省小学校）
- 内容 次の5つのプログラムを実施
①12:00～13:00 「松之山・国際理解タイム」（ランチ&レクチャー）
②13:30～15:00 「現代アートの学校」
③13:30～15:00 「表^{あらわしか}驚科表現ワークショップ」
④13:30～15:00 「松之山版うわさの保護者会」
⑤15:30～17:00 「明日へのフォーラム」
- 出演者 各プログラムの出演者及び内容は添付パンフレットのとおりに
- 料金 プログラム②、③、④は無料
プログラム① 大人1,000円 小中高生500円
プログラム⑤ 大人1,000円 高校生以下無料
- 参加申込み先 大地の芸術祭東京事務局 ☎03-3476-4868
※メール及びFAXは添付パンフレットのとおりに
- 主催 松之山オープンキャンパス実行委員会
- その他 子供が参加するため、取材の際は撮影等の配慮をお願いします。
- 添付資料 パンフレット

■問い合わせ

実行委員会事務局 担当：中島
☎025-596-3131（松之山支所内）

松之山 オープン キャンパス

アートによる学びを体験！

主催 松之山オープンキャンパス実行委員会
後援 十日町市教育委員会、大地の芸術祭実行委員会、松高支援連絡会、松高同窓会

講師プロフィール

新潟国際情報大学国際交流 ファシリテーター

LESSON
1

2005年から始めた新潟国際情報大学と新潟県国際交流協会などの協働企画「国際交流インストラクター」の実績をいかし、学生をファシリテーターとして育成し、県内小中学校・高校に派遣するもので、地域社会の国際交流意識、地域活性化をうながす意欲的な学生教育プログラムとして高く評価される。その後、NUIS現代GP国際交流インストラクター事業としての取組を経て、新潟県国際交流協会からの委託事業として現在も継続・実践中。



LESSON
2&5

黒瀬陽平 (美術家、美術批評家) Youhei Kurose

1983年生まれ、東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。博士(美術)。「思想地図」公募論文でデビュー。美術からアニメ・オタクカルチャーまでを横断する鋭利な批評を展開する。また同時にアートグループ「カオスネラウンジ」のキュレーターとして展覧会を組織し、アートシーンおよびネット上で大きな反響を呼ぶ。2013年12月、「フクシマ」へ門を開くー福島第一原発観光地化計画展2013展(ゲンロンカフェ、ゲンロンオフィス)に参加。著書に「情報社会の情念ークリエイティブの条件を問う」(NHK出版)。



LESSON
4&5

苅宿俊文 (青山学院大学教授) Toshibumi Kariyado

18年間の公立小学校教諭を経て、大学では、ワークショップデザインの研究開発に取り組み、子どもたちの創造性や表現力の増進のための学習コミュニティデザインに関する実践的研究に取り組んでいる。近年、行政・大学・地域と協働した実践を企画・運営として、子どもたちのコミュニティと学習環境をデザインできるワークショップデザイナーの育成プログラムを手がけている。著書には「子どもたちの想像力を育てる」(東大出版会)など多数。その他、グッドデザイン賞やキッズデザイン賞、青山学院学術賞など多数受賞。



LESSON
3&5

中島諒人 (鳥の劇場主宰) Makoto Nakashima

1966年鳥取県生まれ、東京大学法学部卒業。大学在学中より演劇活動を開始、卒業後東京を拠点に劇団を主宰。2003年利賀演出家コンクールで最優秀演出家賞受賞。2004年から1年半、静岡興舞台芸術センターに所属。2006年より鳥取に劇団の拠点を移し、「鳥の劇場」をスタート。二千年以上の歴史を持つ文化装置＝演劇の本来の力を通じて、一般社会の中に演劇の居場所を作り、その素晴らしさ・必要性が広く認識されることを目指す。芸術選奨文部科学大臣新人賞(2009)。



LESSON
5

佐々木寛 (新潟国際情報大学教授) Hiroshi Sasaki

1966年香川県生まれ。中央大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。立教大学法学部助手、日本学術振興会特別研究員(PD)、新潟国際情報大学専任講師、准教授を経て2008年より現職。その間に英国シェフィールド大学特別研究員、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員など。日本平和学会第21期会長、環境エネルギー政策研究所(ISEP)理事、おらってにいがた市民エネルギー協議会代表理事。政治学、平和学の観点から、市民による「新しい社会」の創出を目指す活動を多角的に展開する。近著に「市民政治の育てかた」(大月書店、2017年)など。



LESSON
5

北川フラム (アートディレクター) Fram Kitagawa

1946年新潟県生まれ。主なプロデューサーとして、「アントニオ・ガウディ展」、「子どものための版画展」、「アハルトヘイト舌! 国際美術展」等、地域づくりの実践として、2000年にスタートした「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」ほか、「瀬戸内国際芸術祭」、「北アルプス国際芸術祭」、「奥能登国際芸術祭」の総合ディレクター。長年の文化活動により、2003年フランス共和国政府より芸術文化勲章シュヴァリエを受勲。2006年度芸術選奨文部科学大臣賞、2007年度国際交流奨励賞・文化芸術交流受賞。2012年オーストラリア名誉勲章・オフィサー受賞。2017年朝日賞。

▶ 会場アクセス

三省ハウス
〒942-1402 新潟県十日町市松之山小谷327

▶ お申込み

大地の芸術祭東京事務局
E-mail: ○○○○ FAX: 03-3476-4847
※各講座とも定員に達し次第、申込みを終了します。
定員に空きがある場合は当日受付も行います。

▶ お電話でのお問い合わせ

TEL 03-3476-4868 (大地の芸術祭東京事務局 担当関口、前田まで)



日時
8/25 ±
12:00~17:00
会場
三省ハウス

松之山 オープンキャンパス

2018 MATSUNOYAMA
open campus in Summer

プログラム

12:00～17:00

アートによる学びを体験しよう!

少子高齢化が進む松之山地域では、「学校がなくなれば地域が立ち行かなくなる」という危機感から、地域住民により松高(新潟県立十日町高校松之山分校)対策検討会が設立され、大地の芸術祭と連携した特色あるカリキュラムを研究してきました。

今回の芸術祭では、松之山での取組をきっかけに生まれた鳥取県のユニークな授業を含め、「山間地の小規模校」だからこそできる「アートによる学び」のプログラムを体験していただきます。

また、仕事や暮らしのスタイルが大きく変わろうとするなか、これから何を学べばいいのか?大人向けの保護者会や、さまざまなジャンルの有識者ともに公開フォーラムも開催。「もうひとつの学び」を考えていきます。

LESSON 1 「松之山国際交流タイム」(ランチ&レクチャー)

世界の芸術家が松之山地域につくった里山アート。それらを丁寧に読み解いていくと、私たちが普段意識しないもう一つの世界が見えてきます。

松之山のアートを題材に、これまでのアーティストと地元との交流の様子などから国際理解を深めるワークショップ。松之山の郷土料理を召し上がりながら、アートをレンズにして世界をのぞいてみよう。

講師：山田裕史(新潟国際情報大学講師)、
新潟国際情報大学国際交流ファシリ
テーター(学生)、荒川洋子(オースト
リアハウスコーディネーター)

時間：12:00～13:15

会場：三省ハウス食堂

対象：どなたでも

料金：大人1,000円、小中高生500円、
食事代込

幼児以下無料 ※見学は無料

定員：50名

LESSON 2 「現代アートの学校」

世界でも稀にみる地滑り地帯の松之山。その地滑りという現象を別の視点でみると、松之山の隠された豊かさがみえてきます。今回は松之山の将来の地形を予測したり、将来の世代とのコミュニケーション手段としてのアートを考えます。松之山という地理をアートの視点で読みとく、いわば「芸術地理学」的な試みです。
※当日の10:30からフィールドワークを行います(要予約)。



講師：黒瀬陽平
(カオス*ラウンジ代表)

時間：13:30～15:00

会場：三省ハウス体育館

対象：小中高生※見学自由

料金：無料

定員：40名

LESSON 3 「表驚科表現ワークショップ」 (鳥取市立鹿野学園特設科目)

青山学院大学苅宿研究室を中心として、2012年から2015年にかけて松之山で行われてきた「アートによる学び」は、現在は鳥取市立義務教育学校の特設科目として実施されています。演劇を通してコミュニケーション力、表現力、チームワーク力、そして国語・算数・理科・社会などの学力も伸ばそうとする実験的な試みです。今回は松之山の環境を教育的素材とした演劇を行います。



講師：中島諒人
(鳥の劇場芸術監督)

時間：13:30～15:00

会場：三省ハウス体育館

対象：小中高生※見学自由

料金：無料

定員：40名

LESSON 4 松之山版うわさの保護者会

今、子どもたちに起きていることとどのように向き合えばいいのか?学習、交際、家庭、生活面など、子どもの生活を取り巻くさまざまなテーマについて、親が感じる具体的な課題はどのようなものか?教育学の専門家が、事前に松之山の保護者からヒアリングし、今子どもたちの身の回りに起きていることをもとに、その処方箋と一緒に考えていきます。



講師：苅宿俊文
(青山学院大学教授)

時間：13:30～15:00

会場：三省ハウス体育館

対象：大人※見学自由

料金：無料

定員：40名

LESSON 5 明日へのフォーラム 「もうひとつの学び、もうひとつの生き方 ～アートによる学びの可能性～」

10年前、アートという言葉がこれほどまでに市民権をもつことを誰が予想したことでしょう。2000年から美術を軸とした地域づくりを進める越後妻有で、改めてアートの役割を考えます。特に、仕事や暮らしのスタイルが大きく変わろうとするなかで、学びはどのように変わっていくのか。そのなかでアートがどのような役割を果たすのか。有識者、参加者を含めた話し合いを通して、もうひとつの学び、もうひとつの生き方を考えていきます。

ゲスト：苅宿俊文(青山学院大学教授)、
スピーカー 北川フラム(アートディレクター)、
黒瀬陽平(カオス*ラウンジ代表)、
中島諒人(鳥の劇場芸術監督)

コーディネーター：佐々木寛(新潟国際情報大学教授)

時間：15:00～17:00

会場：三省ハウス体育館

対象：どなたでも

料金：大人1,000円、高校生以下無料
資料代 ※芸術祭バスポート持参で500円引き

定員：100名